

# 総合的な学習（英語活動）指導案

第4学年 男子9名 女子8名

## 1 単元名

「好きですか？ できますか？」

## 2 単元について

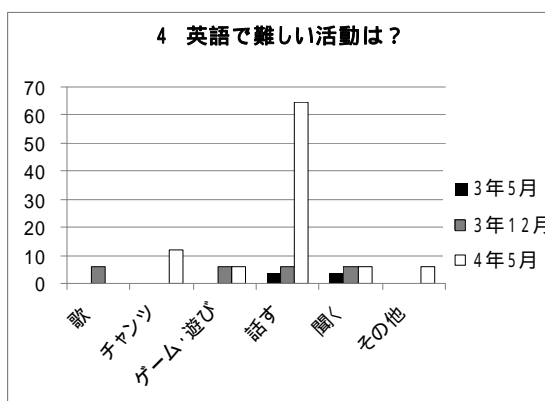
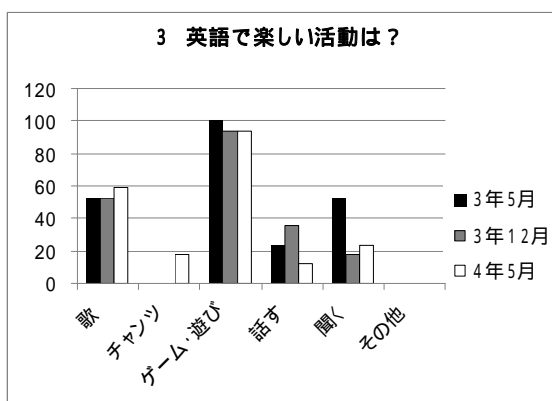
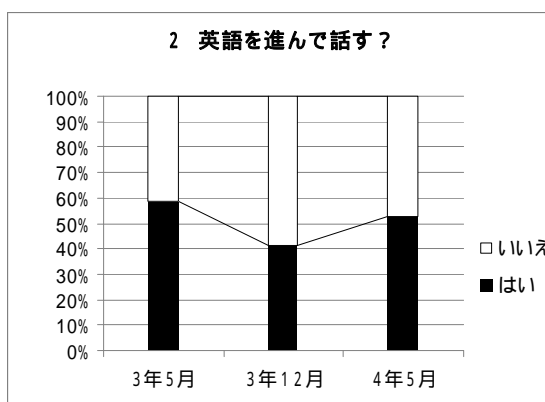
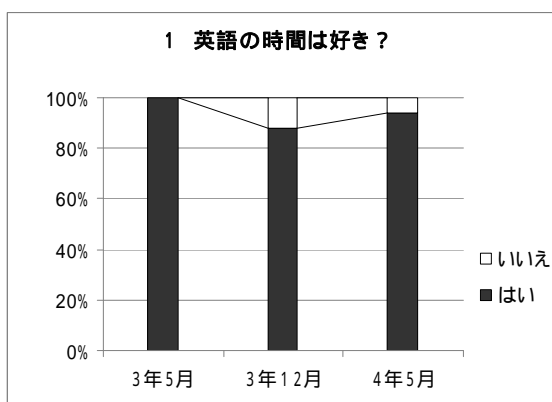
### (1) 目標

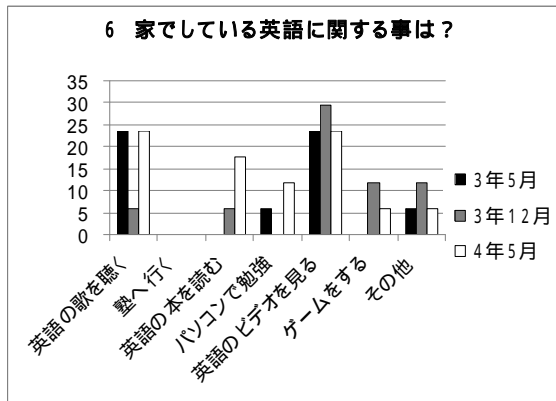
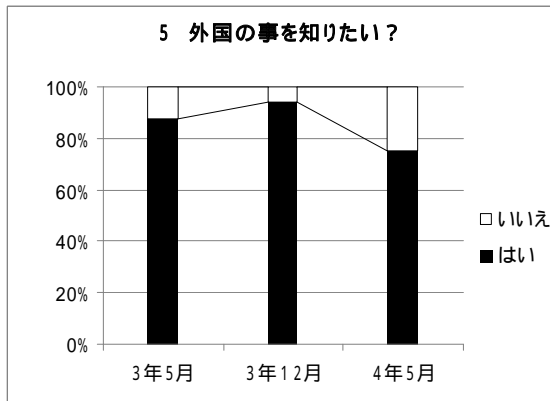
- ・ゲームを楽しむ活動を通して、英語で質問したり答えたりしようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・ALTの話などを通して、英語や外国の文化に親しむ。【言語・文化への気づき】

### (2) 児童の実態





1, 2のグラフからいったん英語活動を嫌いになりかけて最近になってから再び英語活動に意欲を持ち始めていることが伺える。普段から教室で英語を多く使うようにしてきた効果であると思われる。

3のグラフから圧倒的に英語を使ったゲームを好むことがわかる。歌の数値が伸びてきている要因はイングリッシュタイムや清掃時間に英語の歌を多く聞かせることにあると思われる。

4のグラフから話す活動を難しいと感じる児童が極めて増えている。これは今年度になって難しい発音の単語が増えたことや授業中にALTから繰り返し発音指導があることによって、児童の中に正しい発音をしなければならないという気持ちが強くなったからだと推測される。

5のグラフから外国に対する興味が低下していることがわかる。他国の文化に触れるような活動を増やす必要がある。

6のグラフから、家庭での英語の関心が高まっていることがわかる。昨年度までは回答に偏りが見られたのだが、今年度になってほぼすべての項目に選択者が出ている。

### (3) 指導観

「Do you like ~?」や「Can you ~?」は、日常生活において、親しみのあるコミュニケーションの一つであると思われる。また、児童にとって身近なスポーツや楽器などに関する会話に応用できる表現である。

本時では、新しい単語を学習せず、コミュニケーション活動をたくさん取り入れたゲームの時間を十分確保し、学んだ会話を楽しく反復練習できるようにしたい。また、アメリカ4大スポーツの一つであるアメリカンフットボールについて動画やALTの説明で紹介し、外国の文化への興味を高めさせたい。

## 3 校内研究との関わり

### (1) 中ブロックの求める児童像

身近な英語に慣れ、友だちと関わりながらコミュニケーションを楽しむ子

### (2) 研究仮説に関わる4年生の提案

変化のある繰り返しと競争心の刺激

単純なゲームを少しずつ繰り返す。単純なゲームを取り入れることによって活動自体に十分な時間をとることができる。また、少しずつ変化させることによってマンネリを防ぐとともに、前時までのやり方を参考にすることが可能であるため、児童への負担が減少すると考える。また、コミュニケーションゲームをしながら、カードを多く集めることを競わせることにより、児童の競争心を刺激し意欲の向上につなげる。順位をつけることはゲームをおもしろくするための重要な要因である。

#### ア Can you play バスケット

椅子を並べて円をつくる。全員に1枚ずつスポーツカードを配付する。中央の1名が「Can you play ~ ? 」と質問する。持っているカードと一致した、または自分の好きなスポーツについて言われた児童は大きな声で「Yes, I can. 」と叫ぶ。その後、好きではないスポーツだった児童は「No, I can't 」と大きな声で言う。中央の児童が「Go ! 」と言ったら全員が動くようにする。しっかり英語で答えてから動くようにする。中央の児童の質問が「Can you play **dodgeball** ? 」だった場合は、必ず全員が「Yes, I can. 」と叫び、全員が移動する。このゲームはルールが単純で全員が一斉に声を出すため、カード取りゲームより先に行い場を盛り上げるとともに英語を話す抵抗感を消失させる。

#### イ カードとりゲーム

スポーツのカードを各自1枚ずつ持つ。ペアになり、挨拶した後にジャンケンをして質問者を決める。質問者が「Can you play ~ ? 」と質問する。回答者は質問内容が自分の持っているカードと一致していたら「Yes, I can. 」と答え、カードを質問者に手渡す。違っていたら「N can't 」と答え、カードのやりとりは行わない。その後、同じペアで立場を入れ替えて同様にゲームを行う。双方が質問者の役割を終えたら挨拶して別れ、別のペアをさがす。2回目以降は複数のカードを持っている児童はゲーム用のカードを一枚選んでおく。カードが無くなった児童は教卓の山札からカードを1枚ひいてくる。最後にカードの枚数を数えて一番多くカードを持っている児童を褒め称える。

#### 発音にこだわりすぎない

本校の英語活動で目標としているのは楽しくコミュニケーションをすることであり、正しく英語を発音することではない。もちろん、正しい発音ができるに越したことはないが、それにこだわりすぎると児童の意欲がそがれるとともに授業のリズムも悪くなり楽しいコミュニケーションにはつながっていかないと考える。チャンツの場面ではA L Tの指導で正しい発音を目指していくが、それに特別に時間をかけることはしない。

#### 担任自らハイテンション

H R T自らがB E S T ( Big voice, Eye contact, Smile, Try ) にとりくむ姿勢

をみせることが、小学校での英語活動では最も大切であると考え。児童がBESTのねらいを達成できるようにHRTがハイテンションでオーバーリアクションな授業を展開していく。

#### ワールドビュータイム(WVT)

日本で一般に人気のあるスポーツとされるのは野球とサッカーであり、国技(正式に規定はないが)とされるのは相撲である。児童の外国への関心を高めるために本時ではアメリカ4大スポーツについて紹介する。各スポーツの写真を見た後に略称(MLB, NFL, NBA, NHL)の言い方を練習する。また、特に児童になじみのうすいであろうアメリカンフットボールについては防具の実物を見せて、より興味を引くようにする。

#### 4 指導計画(6時間)

	活動内容	言語材料	ゲーム・WVT
1	すきですか1 ・点数を競うスポーツが好きかどうかを英語で質問したり答えたりする。	文 Do you like ? Yes, I do./No, I don't.. 単語 like, sport, basketball, <b>baseball</b> volleyball, soccer, <b>dodge ball</b>	ゲーム Do you like バスケット カード取りゲーム WVT アメリカ4大スポーツ
2	すきですか2 ・点数を競わないスポーツが好きかどうかを英語で質問したり答えたりする。	文 Do you like ? Yes, I do./No, I don't.. 単語 swimming, skiing, skating	ゲーム Do you like バスケット カード取りゲーム WVT アメリカ4大スポーツ
3	できますか1 ・点数を競わないスポーツや、活動ができるかどうかを英語で質問したり答えたりする。	文 Can you ? Yes, I can./No, I can't.. 単語 skate, ski, dance, swim, cook	ゲーム Can you バスケット カード取りゲーム WVT アメリカ4大スポーツ
4	できますか2 ・点数を競うスポーツができるかどうかを英語で質問したり答えたりする。	文 Can you play ? Yes, I can./No, I can't.	ゲーム Can you play バスケット カード取りゲーム WVT アメリカ4大スポーツ
5	できますか3 ・楽器が弾けるかどうかを英語で質問したり答えたりする。	文 Can you play the ? Yes, I can./No, I can't.. 単語	ゲーム Can you play the バスケット カード取りゲーム

		violin, piano, recorder	
6	まとめ ・スポーツや活動，楽器が好きかどうかを英語で質問したり答えたりする。 ・聞かれた内容を受けてそれができかどうかを質問したり答えたりする。	文 Do you like            ? Yes, I do./No, I don't./ Can you                ? Can you play            ? Can you play the        ? Yes, I can./No, I can't.	Do you like & Can you バスケット カード取りゲーム

5 本時の活動 ( 4 / 6 )

( 1 ) 本時の目標

- ・得点を競うスポーツができるかどうかを訪ねる英文を使ったゲームに取り組む活動を通して，楽しみながら英語で質問したり，答えたりしようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- Big voice**      大きな声で英語を話している。
- Eye contact**    ゲームの時に相手の目を見ている。
- Smile**            楽しくゲームをしようとしている。
- Try**                多くの人と会話してみようとしている。  
                          みんなの前で英語を話してみようとしている。

( 2 ) 言語材料

Can you play            ? Yes, I can./No, I can't.

( 3 ) 本時の展開

段階	児童の活動	HRT の活動・支支援	ALT の活動・支支援	評評価 準備物
導 入	1 挨拶 ( 1 分 ) Good morning. Mr. Eric & Mr. Johnny. I'm ~. (fine/great/sleepy)		Good morning. How are you?	
	2 復習チャンツ ( 4 分 ) 既習の単語と会話文の練習。	支 児童の中に入り，大げさに大きく一緒に練習する。	Repeat after me. Can you ***?	評 B 【観察・表情】
展 開	3 めあての確認 ( 1 分 )	めあてを黒板に掲示し確認する。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">英語で            ができるか聞いてみよう。</div>			



<p>8 ゲーム2 (8分) カード取りゲーム</p> <p>HRT と ALT の デモンストレーシ ョンを見る。</p>	<p>ゲームの手順とル ールを説明する</p>		
	<p><b>【ゲームの手順とのルール】</b>      相手を探しさまよい歩く。      相手を見つけたらあいさつをする。      米国式ジャンケンで先攻後攻をきめ      る。      先行が相手のカードを予測し、質問      する。      後攻が答える。      必要に応じてカードの収受をする。      後攻が相手のカードを予測し、質問      する。      先行が答える。      必要に応じてカードの収受をする。      あいさつをして分かれる</p>		
<p>ゲームをする。</p>	<p>誰よりもハイテン ションでゲームに参 加しながら、多くの ペアを観察する。</p>	<p>支 児童の中に入り、 進んで相手を見つ けられないでいる 児童に声をかける。</p>	<p>評 S 【観察・表情】 評 T 【観察・表情】 評 E 【観察・表情】</p>
<p>獲得したカード の枚数を英語で確 認する。</p> <p>代表児童による デモンストレーシ</p>	<p>支 カードを多く獲 得した幸運と、数 多く相手に声をか けた意欲を大いに 褒め称える。</p>		<p>評 T 【観察・表情】</p>

	<p>ョンを行う。</p> <p>9 ワールドビュータイ ム ( 8 分)</p>	<p>A L T の話に合わせて写真を掲示する。 アメリカンフットボールの防具の実物を見せる。 N F L の動画を見せる。</p>	<p>N F L について説明する。</p>	<p>液晶テレビ P S P</p>
終 末	<p>10 まとめ 本時で学習した英語をもう一度練習する。( 3 分)</p>	<p>支 児童の中に入り、大げさに大きく一緒に練習する。</p>	<p>Repeat after me. Can you play ? Yes, I can./No, I can't.</p>	
	<p>11 振り返りカードに記入する。( 3 分) 書き終わったら H R T か A L T に見せてサインをもらおう。</p>	<p>児童の振り返りカードをチェックする。</p>	<p>児童の振り返りカードをチェックする。</p>	
	<p>12 挨拶 ( 1 分) Thank you Mr. Eric &amp; Mr. Johnny.</p>		<p>See you next time. Good bye everyone.</p>	